

ひらけゴマ!

しずおかしりつとしょかん
静岡市立図書館

Vol . 150 (2022秋号)

あきごう

とくしゅう たび
特集 旅

そらと たんけんたい しま
『空飛ぶのらネコ探検隊 まぼろしの島のドーデー』

おおはら こうざぶろう さく
大原 興三郎 / 作

こぐれ けんじろう / 絵

ぶんけいどう
文溪堂

あお913

オオハラ



ふうせんききゅう ごう の せかい
風船気球のら号に乗って、世界の
たび と だ
旅へ飛び出したのらネコたち。とこ
ろが、とつぜん たつまき ひ
突然の竜巻に引きちぎられて
のら号は大破してしまいます。たど
り着いた無人島にいたのは、なぜか
ぜつめつ どうぶつ
絶滅したはずの動物ばかり。この島
でのらネコたちのしめい
使命とは？そ
して、のら号は無事に島をだっしゅつ
ごう ぶじ しま だっしゅつ
脱出できるのでしょうか。ゆうじょう ぼうけん
友情と冒険の
シリーズだい だん
第9弾。



ことわざクイズ! どないみ?

たび みちづ よ なさ
「旅は道連れ世は情け」

☆こたえはいちばんさいごのページ

えほん『絵本江戸のたび』

E オオタ

おおた だいすけ さく こうだんしゃ
太田 大輔 / 作 講談社



江戸時代には、江戸の日本橋から伊勢神宮までをたびするお伊勢参りがブームになり、この絵本にはそのたびの様子が描かれています。案内するのは、昔から東京にすんでいたという「妖怪小僧」。他に隠れている「絵さがしキャラクター」たちを探すのも楽しいです。

『旅をしたがる草木の実の知恵』

471.1

もりぐち みつる ぶん え しょうねんしゃしんしんぶんしゃ
盛口 満 / 文・絵 少年写真新聞社

モ



おいしい実をつけて鳥や動物を引き寄せたり、ベタベタトゲトゲしてくっいたり、ドンブラコと波に乗ったり、ペラペラして風に飛ばされたり。自分で動くことができない草や木は、実に旅をさせるためにあの手この手と知恵を働かせています。ゲッチョ先生が、いろいろな実の知恵についてきれいなイラストで教えてくれます。



ほか 他にもこんな本があるよ！

『旅からわかる江戸時代』

210.5

ふかみつ ふじお ちよ かわてしよぼうしんしゃ
深光 富士男 / 著 河出書房新社

フ

えほん『ぼくたちはみんな旅をする』

E マツテ

ローラ・ノウルズ／文 クリス・マッデン／絵
いしかわ なおき やく こうだんしゃ
石川 直樹／訳 講談社



動物たちが実際に、水の中や空を飛び、
広い大地をこえて旅をする様子を紹介
しています。それは食べものや、いごこ
ちの良い場所をもとめる旅です。信じら
れないほどの長い距離を移動する動物
が、地球上にはたくさんいることがわか
ります。そして私たち人間も色々な理由
で様々な場所に旅をする動物なのです。

『おじいちゃんとの最後の旅』

さいご たび

ウルフ・スタルク／作 キティ・クローザー／絵
ひしき あきら こ やく とくましょてん
菱木 晃子／訳 徳間書店

きいろ 949

スタルク



入院しているおじいちゃんは、口が悪く
て看護師さんを困らせたりするけれど、ぼ
くは大好き。ある日、ぼくとおじいちゃん
は亡くなったおばあちゃんと暮らしていた
島の家へ1日だけ帰る旅の計画を立て、
病院を抜け出します。旅を終え病院に戻
ってきたおじいちゃんは、天国でおばあち
ゃんと会う時のためにきれいなことばを使
う練習を始めます。

えほん『ねぎぼうずのあさたろう』

いいの かずよし さく ふくいんかんしょてん
飯野 和好／作 福音館書店

E イイノ

ごまはかせ と こま^た太くんの どうやってしらべるの？



こま^た太くん

こまったなー、こまったなー、はかせ。
旅行に行きたいんだけど、どこに行こうかなかなか
決まらないんだよ～。

そうじゃのう。最近^{さいきん}は涼^{すず}しくなって、旅行^{りょこう}に出か
けるには、ぴったりの季節^{きせつ}じゃのう。



ごまはかせ



電車^{でんしゃ}に乗って、景色^{けしき}のきれいなところに行
くのは、楽しいだろうな。

では、図書館^{としょかん}に行って調べてみようかの。



まず、目的^{もくてき}の本^{ほん}を見つけるためには、本^{ほん}がどの分類^{ぶんるい}にあて
はまるかじゃが…

2の分類^{ぶんるい}の棚^{たな}に行って、地理^{ちり}や旅行^{りょこう}の本^{ほん}を探すのじゃ。



あ、あったよ！色々^{いろいろ}な場所^{ばしょ}について書いてある本^{ほん}
みつけたよ。へえ～、日光^{にっこう}っていう紅葉^{こうよう}がきれいな場所^{ばしょ}
があるんだって。はかせもいっしょに行ってみようよ。

うむ。わしももみじ狩^がりをしてみたいのう。



ひょうし
表紙^{ひょうし}の
こたえ

つらい世^よの中^{なか}を生きていくには、人^{ひと}と人^{ひと}とがお互い^{たが}に
気づ^きづかいあい助け^{たす}あ合^あっていきことが大切^{たいせつ}だということ。